

## GIGA〔Global and Innovation Gateway for All〕スクール構想について

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する
- これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

「文部科学省『GIGA スクール構想』について」より

Society 5.0 (※1) 時代を生きる子ども達にとって、教育における ICT を基盤とした先端技術の活用は必須です。また、変化の激しい時代を生き抜くには従来の一斉教育だけではなく、多様な子ども達を誰一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要であり、ICT 教育で次世代の人材を育てる必要があります。これらを持続的に実現させる構想が GIGA スクール構想です。

(※1) 狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く新たな社会として、サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

9月29日(火)に講演会を行いました。

講演タイトル「命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～」

講師 腰塚 勇人(こしづか はやと)氏



今年度、市の指定を受け「魅力あふれる学校づくり」を進めるために腰塚勇人先生をお招きし、「命の授業」をテーマに

講演をしていただきました。「ドリー夢メーカー」についてや「命の喜ぶ生き方～5つの誓い～」についてなど自分の体験から得たことをもとに話をしてくださいました。

「誰かのドリー夢メーカーになっていますか?」「自分のドリー夢メーカーは誰ですか?」ぜひ御家庭でもこの話を聞いていただき話題にしてほしいと思います。

「5つの誓い」について

- 口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- 目は人のよいところを見るために使おう
- 耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 手足は人を助けるために使おう
- 心は人の痛みがわかるために使おう

